

## 第4学年松組 算数科学習指導案

指導者 菊地 薫 (Tk)  
齋藤奈保子 (Tn)

1. 単元名 分けた大きさの表し方を考えよう～分数～

2. 単元の目標

分数を用いると、端数部分の大きさや等分してできる部分の大きさなどを表せるよさに気づき、進んで生活に生かそうとする。(関心・意欲・態度)

分数は単位量を何等分かした1こ分を単位として、その何こ分で表すことを筋道を立てて説明できる。(数学的な考え方)

端数部分の大きさや等分してできる部分の大きさなどを分数を用いて表すことができる。(表現・処理)

分数の意味や表し方を理解する。(知識・理解)

3. 単元について

(1) 児童について

算数の時間が好きという子供が多いが、計算練習やドリル的な学習を好む傾向があり、計算のしかたを考えたり意味を考えたりという活動を苦手と感じている子供が多い。

学習状況調査の結果からも同じような傾向が読みとれる。4年生の結果として算数を「大好き」と答えた子供が45.1%、「好き」と答えた子供が41.8%で合計すると、86.9%と全県の平均82.6%を4.3%上回っていた。その理由として挙げられたのが「わかりやすいから」という項目であった。計算やドリル的な学習では、答えが1つに決められているものが多く、すっきりするからであろうと考える。「きらい」と答えた子供の多くは「考えるのが面倒」という理由からであった。

学習状況調査においては、設定率は上回ったものの、全県の平均81.2%に比べ79.9%と下回った。

(2) 単元について

児童は日常生活の中である大きさの半分や、4つに分けた大きさなどを表すことについても経験してきている。本単元はこれらの経験をふまえて、はしたの大きさや等分してできる部分の大きさなどを表すのに分数を用いることを知り、それらを適切に用いることをねらいとしている。

既習の小数と比べ、分数は単位として任意の大きさを選ぶことができるのがよさであるが、数直線上に表すことは簡単ではない。こうした過程を経て、一般化した「数」としての分数を理解させていき、分数の基礎を養うことをねらいとしている。

(3) 指導について

分数の導入では、操作活動を取り入れ、実際にテープなどを用いて等分割の操作を行い、はしたの部分の大きさを表すのに用いられることに着目させたい。

分数の大きさの表し方では、具体的な操作を通して数直線と対応させて単位の分数の意味を理解させたいと考える。

基礎基本をしっかりと定着させるために、全体計画の中に学習形態を位置づけ、単元全体を見通した計画のもとに学習を進めたいと考える。1C2Tを基本として行うが、その学習内容に応じて、1C3Tや少人数学習を取り入れ、一人一人に対応していきたい。TTを行うに当たっては、TTカードを活用し、T1とT2の役割分担をしっかりと決めておくほか、座席表を活用し、子供の考え方やつまづきを記録していくことによって情報交換の共有化を図りたい。また、次時への支援を考えるための資料になるであろうと考える。

本時は、インターネットTV授業を取り入れ、総合教育センターの先生に加わっていただき、1C3Tの形態をとり学習を進めたい。自力解決の場面では、自分で解決の見通しがもてない子供を中心に、一緒に解決方法を考える支援をしてもらう。また、習熟を図る場面では本時のねらいが十分に達成したと思われる子供を中心に、発展的な問題を提示し、学習を進めてもらうという形態をとりたい。

5. 本時の実際 ( 本時 8 / 12 )

( 1 ) ねらい

仮分数と帯分数の大小比較を通して、仮分数と帯分数の関係について理解することができる。

( 2 ) 学習過程

過程	形態	時間	学習活動と予想される児童の反応	学習への支援	評価
つかむ	全	2	1. 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">仮分数と帯分数の大きさの比べ方を考えよう。</div>	前時の大きさ比べの学習から、本時につながるような振り返りを紹介し意欲を高めておく。	
	全	3	2. 問題を読み、解決の見通しをもつ。	解決の方法を発表し合い、自力解決に向けて、見通しをもてるようにする。	
とりくむ	個	8	3. 解決方法別のコースに分かれ、自力解決をする。 ・ 仮分数に直す ( T n ) ・ 帯分数に直す ( T k ) ・ 解決の見通しをもてない ( T m )	一つの方法で解決できた子供は、別のやり方で確かめができるようにする。 解決の見通しをもてなかった子供には、TV会議システムを使い、教師と一緒に解決できるようにする。	
	全	10	4. 結果を発表し合い、大小比較のしかたをまとめる。	各コースからそれぞれの考えを出し合う。	
ふかめる	個	12	5. 練習問題を解く。	練習問題を複数準備しておくことで、自分に合ったプリントを選んで学習できるようにする。 練習プリントを終えた子供は、TV会議システムを使い、発展学習を行う。	
	個	8	6. 評価問題を解く。		
まとめる	個	2	7. 本時の学習を振り返る。	仮分数と帯分数の大小比較をすることができたか。  数名の振り返りを紹介し、次時への意欲付けをはかる。	